

ORS 学術集会に参加して

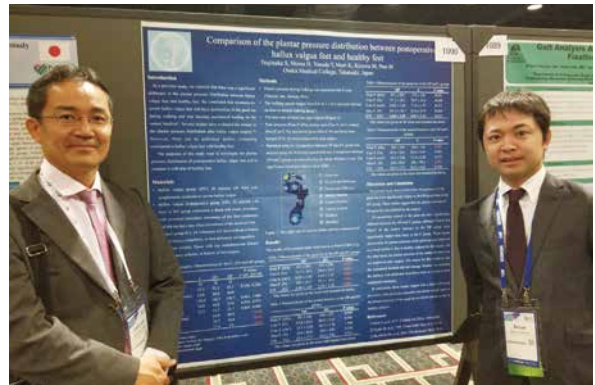
整形外科学教室 大学院3年 辻中 聖也（平成23年入局）

2018年3月10日から13日まで、アメリカのLouisiana州 New Orleansにて開催された、Orthopaedic Research Societyの学術集会に、足の外科の嶋先生と参加しました。

今回、初めて海外学会へ参加させて頂きました。英語は不得手であり、抄録やポスターの修正には嶋先生をはじめ安田先生、守先生、木澤先生に幾度もご指導頂き、ありがとうございました。また、アメリカ合衆国本土に行くのは初めてで全く要領を得ず、飛行機やホテルの手配の手順を嶋先生に教えて頂き、大変お世話になりました。

本学術集会はHyatt Regency New Orleansで行われ、ポスター発表を行いました。ORSのポスター会場は企業展示ブースと同じだったので、日本の学会では見ることのない非常に規模の大きな会場でした。ニューオリンズに到着してからは日本人だけでなくアジア人も見かけることはなかったのですが、ポスター会場には日本人が多く参加されていることに驚きました。質疑応答の時間は1時間でしたが、質問の内容が理解できるか、返答もきちんとできるのか不安で非常に緊張しました。アメリカでの大きな学会で発表させて頂いたという、大きな経験をさせて頂きました。

学会参加以外のことを少しお伝えします。今回は3泊5日で学会に参加したのですが、学会の中日にニューオリンズの観光に行きました。朝食はフレンチクォーターにあるCafé Du Mondeという喫茶店で、ベニエという揚げたドーナツに大量の粉砂糖をふりかけたものとカフェオレを頂きました。朝8時頃に行ったのですが、すでに大行列ができています。ベニエは一見すごく甘そうですが食べてみると意外にあっさりしていて、定番のコーヒーとの組み合わせは最高でした。ニューオリンズは19



ORS ポスター展示 嶋先生と

世紀初頭までフランスやスペインに統治されていたそうで、フレンチクォーターにはセントルイス大聖堂などのヨーロッパの街並みを彷彿させる風景がなっていました。フレンチクォーターの北側にはミシシッピー川が流れており、「ナッチェス号」という蒸気船に乗って、ミシシッピー川のクルーズに参加しました。3月上旬のニューオリンズの最高気温



Café Du Monde のベニエ



セントルイス大聖堂を背景に 嶋先生と

は20度台前半と暖かく、甲板の上で爽やかな風を受けながら生演奏のジャズを楽しみました。夜はニューオリンズの中でも老舗のジャズホールである「プレザベーションホール」でジャズの生演奏を聴きました。ここはフレンチクォーターの中で最古の建物の1つで、事前予約ができないので公演前に長蛇の列に並びチケットを入手しました。料金は20ドルとリーズナブルな値段で、本場のジャズを堪能することができました。ニューオリンズの最後の夕飯は、ORSの参加者全員でニューオリンズの名店「Arnaud's」で上品なクレオール料理のディナーを楽しみました。クレオール料理とはニューオリンズの郷土料理で、フランス、スペイン、西アフリカの食文化が融合した料理で、米や豆を主体に牡蠣やザリガニ、ナマズなどの魚介類を素材にした料理もあり、堪能することができました。

今回、はじめての海外学会に参加させて頂き、どれも初めての経験でとても新鮮で有意義な時間を過ごすことができました。先生方にはお忙しい中ご指導いただき、深く感謝しております。これからも発表できるように精進させて頂きたいと思っておりますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



ミシシッピー川に停泊するナッチェス号



開演前のプリザベーションホールの風景



Arnaud's での集合写真